

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/01/04 ～2019/02/04)

1. 勉学の状況

1月8日から授業が始まりました。レジャイナ大学では、交換留学生は最低でも3つのクラスを取ることにしているので、私は3つのクラスを取っています。周りの交換留学生も3つの人が多いです。1つのクラスあたり3時間の授業があるので、授業自体は週に9時間しかありませんが、毎回の課題も多いので、最初はこれくらいでちょうどいいと思います。私は、留学前に決めた授業をそのまま受けているので、時間割など何も考えていなくて、火曜日の午後に6時間も授業があるというかなり偏った時間割になってしまいました。

授業は正直、半分くらいしか聞き取れないです。3つの授業のうち2つは、スライドで概要を説明してくれるので聞き取れていない部分も補うことが出来ています。また、ディスカッションの時間や映画を見る時間などもあるので、あまり苦じゃなく授業を受けています。しかし残りの1つの授業は、教授が永遠に3時間ぶっ通しでしゃべり続けるだけで、最初の1時間くらいで聞くのを諦めるレベルできついです。しかも時間が夜の7時から10時で、休憩も挟まないのです。さすがに眠いです。授業が始まる前、活気に満ち溢れていた生徒たちが、この教室から出るときは全員死んだ目をしています。というわけでこの授業はおすすめしません。今学期はどうすることも出来ないの、耐え抜こうと思いますが、次の学期からは多めに取って興味のなかった授業は消していこうと思います。千葉大学と同じで履修登録期間がありますが、交換留学生はその期間に登録さえすれば、後から授業を消すのはいつでも自由です。(教科書代が返金される期限があります。)

2. 生活の状況

もうカナダに来て1ヶ月経つということにとっても驚いています。最初の1週間は長かったです。何もかも不安で、毎日のようにうまくいかないことがあり、日本語を話せる友人を見つけた時は涙が出るほど嬉しかったです。しかし、そこからの3週間は本当にあつという間で、今では最初の週がうそのようにここでの暮らしに慣れました。まず何よりも寒さに慣れ、マイナス10度を下回らなければ基本上着なしで外に出ています。マイナス20度を下回ると鼻とまつげが凍るので、それを見て、今日は寒いんだと知ることが出来ます。ただ夜の風が強く吹いている時はさすがに寒いです。ジム帰り、半袖ハーフパンツにスニーカーで寒空の下、雪を踏みしめて寮に帰る時は、毎回死にかけます。

大学は全部の施設が繋がっていて基本外に出ずに生活することが出来ます。私は結構な極度の方向音痴なので未だに1人だと、隣の建物に行くのに逆側に1周したりしています。さすがにそろそろ覚える努力をしようと思います。寮は現在全部で4棟ありますが、(5月に新しい寮が完

成します。) 私の住んでいる Kisik Tower だけは他の施設と繋がっていないので、外に出なければなりません。これはなかなか不便ですが、寮の Office が 24 時間空いていること、土日にも空いている唯一のコンビニがあること、そして最も新しく最も綺麗で、様々な寮のイベントはこの寮で行われるという利点もあり、私は気に入っています。

生活していく上で最も困っていることは、部屋に冷蔵庫がないことです。とても生きにくいです。ただ外が寒いので、飲み物などの幅の小さいものは窓際に置いておけば勝手に冷えてくれます。しかしアイスや冷凍食品などを買えないのは個人的にかなりきついです。冷蔵庫がないのは、私が 1 人用のキッチンが付いていないドームに住んでいるためです。なので基本食べ物は大学内で食べるか、友達の部屋で食べていますが、先ほど言った通り、どちらに行くにも外に出ないといけないので面倒くさいです。大学の食べ物も正直飽きてきたし、キッチンがあれば日本食や韓国料理など好きなものを食べることが出来ます。なので次の学期はキッチンが付いている部屋に移動しようと思います。

大学以外の暮らしでは、学生証を持っていれば市内のバスは全部無料なので、どこでも気軽に行くことが出来ます。大学は湖に囲まれていて、ダウンタウンもあまり大きくはない田舎の街ですが、探すと意外と美味しい店があったり、無料のスケート場があったり、一応モールもあったり、今のところ退屈せずに生きています。また、大学の留学生課が毎週色々なイベントを企画してくれて、参加費は基本無料なので、色々なイベントに参加するようにしています。あとは現地の方は本当に良い人です。大学の人から、お店の人、道端のおじさん、バスの運転手までみんな優しく、そろそろ財布を置きっぱなしにしていまいそうです。(気をつけます。)

来月は中間テストや 1 週間の Winter Break などまた色々ありそうですが、前向きに楽しく暮らしていきます!!

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/02/05 ～2019/03/04)

1. 勉学の状況

2月の前半は Mid Term がありました。こちらに来てから初めてのテストで、何を勉強したらいいのかわからず大変でした。3つもの授業で Mid Term または中間レポートがあったので、Mid Term が終わる 2月 16 日までは、図書館や自分の部屋で勉強している時間が多かったです。テストが終わった感想としては良くもなく、悪くもないといった感じです。教科書の範囲が広すぎて、どこまで勉強すべきなのかわからなかったのですが、基本的に授業で扱ったことを中心に出題されることが分かったので、次からのテストに活かしていきたいです。

また、テストを通じて実感したことは、やはり英語力が足りていないということです。テストは長文で記述する問題が多く、せつかく答えとなる部分を覚えていても、それをうまく英語で表すことが出来なくて、悔しい思いをしました。テストの勉強をする時に、英語の文章を読んでも、全て日本語で思考してしまい、結果頭に残っているイメージも日本語になってしまうことが原因だと思うので、まだまだ時間はかかると思いますが、帰るまでに英語で思考する力が身に付けられたらいいなと思います。

2. 生活の状況

Mid Term が終わった後は、2月 17 日から 2月 25 日まで 9 日間の休みがありました。その休みを利用して私は、約 1 週間友達とロサンゼルスに行ってきました！滞在は 4 日間だけでしたが、ハリウッド、ディズニーランド、サンタモニカなどを回れて、最高の思い出になりました。また、リトルトーキョーを訪れた際に、カナダに来てから一度も口にできなかった、日本の味～ラーメン～を食べることができて、本当の「美味しい」という感情を久しぶりに思い出して、心から感動しました。やっぱり日本食が 1 番です。今月はもともと 28 日しかないというのもあると思いますが、本当に短い 1 ヶ月でした。毎日何かしらの予定が入っていて、先月よりも自分の部屋でゆっくりする時間がとても減ったように思います。正直疲労もたまっていて、そろそろ風邪をひく予感がしているので、休息を取りながら、来月も元気に生きていきたいです。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/03/05 ～2018/04/04)

1. 勉学の状況

今月は後半に2度目の中間テスト期間があったので、主にその勉強をしていました。日本では、テスト期間は1学期に1度だけなのに、こっちは月1で中間テストがあり、授業によって日程が微妙にずれるせいで、なんだかずっと何かのテストの勉強やレポートに追われている気がします。2回目のテストは早い時期から勉強をしていたこと、1回目で少し感覚をつかんだこともあり、前よりも少し良い結果を出すことが出来ました。しかし、次に待ち受けているのはよいよ期末テスト、3時間のテストなんて受けたこともないし、今までの全範囲だと考えるとかなり不安です。テスト期間までまだ2週間ほど時間があるので、じっくり備えたいと思います。

今月は図書館で友達と勉強する機会がととも増えました。図書館は千葉大と同じで、喋りながら勉強していいフロアと静かに勉強するフロアに分かれています。静かに勉強するフロアで、体育会系なムキムキの黒人や、モデルかと思うほどの可愛い白人女性ですら、ちゃんと勉強しているのを見ると、流石に私も頑張らなきゃ、と思って勉強がはかどります。1人で、部屋で勉強しているとどうしてもだらけてしまう性格なので、このような環境はとともありがたいです。

2. 生活の状況

今月の上旬に世界各国が自分の国を紹介する International Night というイベントがあり、日本人の交換留学生みんなで、ソーラン節を踊りました。本番は想像していたよりも大きい会場で、観客も2000人以上来ていたので少し緊張しましたが、ととも盛り上がり、大成功でした。本番前は毎晩夜の10時から集まって練習をしていて、まるで高校の部活のようで楽しい思い出になりました。また今月は日本食を作ることがととも多かったです。日本にいるときから全然料理をしてこなかった私ですが、この地で日本食作りに目覚め、帰るまでには蕎麦を打ち出す女になれるように精進いたします。

こっちに来てから継続して続けられているのはジム通いです。先月重くて持ち上げられなかった重さが持ち上がるようになった、辛くて5回しかできなかったトレーニングを10回×5セット出来るようになった、ふと留学に来て何をしているんだろう、と思う時もありますが、継続することによって成長していく素晴らしさを学んでいるということにしておきます！

何はともあれ、今月も驚きの早さで進んでいきました。授業は後2週間、その後テスト期間が終われば1学期が終了し、交換留学の友達が1人残らず母国に帰ってしまいます。今からすごく寂しいし、不安もありますが、また新たな出発と思って頑張りたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/04/05 ～2018/05/04)

1. 勉学の状況

今月は、4月の2週目に冬学期の授業が終わり、3週目からは期末テスト期間でした。テスト期間中は、図書館は常に満員、寮は24時間静かにしなくてはいけなくなり、大学全体がテスト一色で少し怖い雰囲気でした。私が取っている3つの授業のうち、1つはテストではなく、最終レポートだったので私の受けるテストは2つだけでした。受ける前は、3時間もテストで何をするのかとても不安でしたが、受けてみたら中間テストを大きくしたような感じで、これまでにある程度内容を理解していれば、難しいテストではありませんでした。ただ私の場合、英語力が追いついていないので、習った知識を使ってその場で長い文章を書かなくてはならない問題などでは、高い点数を取ることは難しいと感じました。こんなの日本語だったらスラスラ書けるのに！と悔しい思いを何度もしました。なので、その分、選択問題や定義を答える問題などでしっかりと点数を取れるように対策することが大事だと思いました。また、テストよりも確実に点数が取りやすいレポートで今までどれだけ点数を取っているかも重要だと思いました。

2. 生活の状況

4月の下旬ごろに長い長い長い冬が終わり、春がやってきました。春が来たと思ったら一瞬で気温は上がり、5日ほどで雪はすべて溶け、今はこの4ヶ月間見たこともなかった、まるで別世界のような景色が広がっています。私は季節の中で冬が1番嫌いなので、毎朝寮を出た時に広がるあたり一面の緑、青い空、心地いい風、そして半袖で歩けるこの気温に幸せを感じています。またテストが終わってから、次の学期が始まるまで10日間ほど休みがあったので、友達とバンクーバーに行ってきました。普段海なし山なしの田舎で暮らしている私からしたら、海と山に囲まれ、自然がいっぱいの大都会バンクーバーはまさに理想の街でした。日本人も多く住んでいて、4か月求め続けた美味しい日本食レストランもたくさんあって、もう文句なしに住みたい街ナンバー1です。どこに行ってもとにかく景色が綺麗で、本当に素敵でした。

5月の頭には今まで住んでいたシングルルームから、4人でキッチン、バスルームを共有するタイプの部屋に移動しました。ルームメイトはまさかの全員黒人で、毎日多少のカルチャーショックを受けます。多少のことは目をつぶって頑張りますが、それにしても、お願いだからバスルームを綺麗に使って、人のものを勝手に使った時は洗って、1度でいいから誰かゴミ捨てに行ってください。それでも今までなかったキッチンと冷蔵庫があり、好きなときに好きな食べ物が食べれること、部屋が寮の中で最上階の14階なので景色がとてもいいことなど利点もあるので徐々に新しい環境に慣れていきたいと思います。今月は留学が始まって以来、1番楽しい1ヶ月だったと思います。次の学期は時間に余裕があるので、無駄にしないように毎日精進しながら過

ごしていきたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/05/05 ～2018/06/04)

1. 勉学の状況

5月の9日から春学期が始まりました。春学期と夏学期はそれぞれ2ヶ月ずつしかないので、授業のスピードが倍速で進みます。月曜から木曜日まで毎日授業、2週間に1度ほどのペースで中間テストか課題があり、すぐに期末テストを受けてあっという間に終わってしまいそうです。初めは2つの授業を取っていましたが、ペースの早さについていけず、今は授業を1つだけとっています。朝早い時間の授業なので、早寝早起きの習慣もつき、自由に使える時間も増えたので、授業以外で、英語などの自分のやりたいことを勉強する時間も持っています。

今回の授業は前学期より人数が少なく、教授が生徒の名前を覚えてくれているので、とてもアットホームな雰囲気です。ただ、その分意見を聞かれる機会が多く、何も言えず授業が止まってしまう恐怖から、授業の前にその授業で扱う題材を見て、何か聞かれた時に言うことをあらかじめ決めて臨むようにしています。毎回意見を聞かれるわけではないですが、これを行うことで、毎度の授業での異常な緊張感を減らすことが出来ています。

2. 生活の状況

生活面ではキッチンのある部屋に移動したことで、日本にいる時よりも自炊する機会が多くなりました。ルームメイトとは共有部分の使い方に多少の文化の違いがありますが、私が我慢すれば済むところはもう割り切って、自分が暮らしやすいように暮らしています。

5月の後半に大学で会議があり、授業が1週間休みだったのですが、今回は遠出せずにレジャイナでゆっくりと過ごしました。5月に入ってから、気候が本当に良くなり、晴れている日は大学の脇の湖を歩いたり、買い物に行くのにバスを使わずに外を歩いたりするだけで幸せな気持ちになれます。日が落ちるのも本当に遅くて、9時を過ぎても明るいので、それだけでなんだか心まで明るくなれます。この会議の期間には、色々な国が街中至るところにブースを設け、それぞれのブースで自国の文化を紹介する MOSAIC FESTIVAL というレジャイナ最大規模のお祭りが開かれていて、街中が活気に満ち溢れた、とても良い雰囲気を楽しむことができました。

また、今月からレジャイナ在住の日本人が運営している和太鼓グループの練習に参加することになりました。私は高校時代和太鼓部に所属していたのですが、なかなか特殊な部活なので大学でも続けることは諦めていて、それがまさかカナダで再会することになるとは思ってもいませんでした！6月は MOSAIC FESTIVAL にブースを出せなかった日本が単独でお祭りを開くので、今はその準備なども手伝っています。

まだ半分以上も残っているのに、帰国が近づいているように感じて早すぎる寂しさを感じ始めました。来月も平和に過ぎ去っていく毎日を大切に生きていきたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/06/05 ～2018/07/04)

1. 勉学の状況

今月は春学期の授業が怒涛のスケジュールで進んでいきました。1か月のうちに、2度目の中間テスト、ファイナルプロジェクト、期末試験があり、1つこなすたびに次の何かに取り組みなくてはいけないような状況でした。さらに中間テストの日には、レジャイナに来てから初めて重めの風邪をひき高熱を出してしまい、意識が朦朧とする中のテストだったので、記憶もなく、結果も散々なものとなってしまいました。この影響で、残る課題でかなり頑張らなくてはいけなくなり、勉強面では追い込まれた1か月でした。教授にも何度か相談に行ったことで、授業中も気にかけてくれるなどとても親身になってくださり、最終的には、ファイナルプロジェクトで良い成績を取ることができて、良かったです。

2. 生活の状況

6月17日にレジャイナ大学で日本を紹介するお祭が開かれ、私はソーラン節と和太鼓のパフォーマンスの他、祭運営のボランティアをしました。当日は、たくさんの方が来場し、日本の食べ物やパフォーマンス、アクティビティを楽しんでいて、私自身も久しぶりに日本のお祭りの雰囲気を楽しめてとても楽しい時間でした。ソーラン節をするのは2回目でしたが、日本人以外も参加するメンバーの中で、唯一の経験者として練習を引っ張っていくのは大変でした。最後には立派にやり遂げることが出来て良かったです。もうこれ以上ソーラン節はしたくないです！

7月1日はカナダの独立記念日で、街中がお祭り騒ぎでした。子供も大人も皆カナダの服を着たり小物をつけたりして、ワスカナ湖の周りではコンサートや出店がたくさん出ていて、夜には花火が打ち上げられました。カナダに来てから初の花火で、根っからの花火好きとしては何だか心に響くものがありました。日本とは違った盛り上がり方がとても楽しく、幸せで素敵な国だなと感じています。

季節はすっかり夏になり、マイナス30度だったあの頃が嘘のように、30度近い気温が続いています。たまには急に大雨が降ってびしょ濡れになったりひどい雷に怯えたりもしています。日本ではそろそろ夏休みが始まりますが、私は春学期と夏学期の間の休みはたったの6日間で、7月5日からまた夏学期の授業が始まります。忙しいような気もしますが、日本にいる時より自由な時間も多く、毎日が平和で、こんな日々が一生続いたらいいのにな、と思いながらも、それが無理であることはわかっているので、今を大切に生きていきたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/07/05 ～2018/08/04)

1. 勉学の状況

7月5日から夏学期が始まりました。夏学期は English100 という、全学生履修必須の文法やエッセイの書き方を学び直す授業を取りました。今学期も短期集中型で、エッセイの宿題がとて多い授業だったので、1つ提出したら次の宿題に取り組むような毎日でした。今学期から授業を始める学生も多く、知らないうちに自分が先輩になっている事に驚愕しました。また、ディスカッションやペアワークも多い授業で、クラスの雰囲気がとても良いです。

昼の時間帯の授業なので、授業が終わったら勉強して、ジムに行って、その後自由時間というようなサイクルを毎日繰り返しています。

2. 生活の状況

カナダの夏は本当に良いです。想像していたよりは暑いですが、あの長い冬を乗り越えた後のこの夏、、至高です。暑くて何もできないというレベルの暑さではないので、ただただ夏の良さを感じる毎日です。外でスポーツをしたり、湖沿いをボードで走ったり、日本にいた時のように色んなところに遊びに行ける環境ではないですが、今の毎日が平和で、幸せです。そして日本の驚異的な暑さの話を聞くたびに、カナダで夏を過ごせる喜びを噛みしめています。ルームメイトとも関係性も改善して、何の問題もなく毎日が過ぎ去っています。しかし、気づけばそんな留学生活も残すところ半分を切ったので、毎日を大切に生きていきたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/08/05 ～2018/09/04)

1. 勉学の状況

今月も夏学期の授業が続いていきました。学期の最後は大きめの課題2つと、Finalの勉強を並行して進めねばならず、本当に忙しかったです。とても分厚い小説を1冊読んで感想を書く課題があったのですが、その本を締め切りの10日前くらいに読み出して、もう、それは、それは、大変でした(自業自得)。重い本なのに常に持ち歩いて、時間があったら読む、友達という時も沈黙ができたなら読み出していたので、その10日間で超大真面目という肩書きを得ることに成功しました。ついに読みきった時の達成感は半端なかったです。前々から締め切りもわかってきた課題なので、二度とこんなことはないようにします。課題も多く、良い成績をとるのが大変と言われていた授業でしたが、1つずつやることをこなして行って、そこそこの成績が取れたので満足です。

2. 生活の状況

今月は2回旅行に行きました！8月の頭に日本からカナダまで来てくれた友達とバンフで会い、念願だったエメラルドレイクに行きました。大学1年の時に千葉大学の語学研修プログラムで、一度バンフに行ったのですが、このエメラルドレイクとモレーンレイクには行けなかったもので、どちらも訪れることが出来て、とても嬉しかったです。湖は本当に綺麗で、野生の動物にも遭遇しまくりで、大自然の中でとても癒されました。8月の最後には、家族とアメリカで落ち合い、フロリダ州のオーランドに旅行に行きました。ユニバーサルスタジオ、ケネディ宇宙センター、そしてディズニーワールドを訪れ、これ以上ないほど素晴らしい旅行でした。何年も楽しみにしていた本当に念願の旅行で、言葉にできないほど最高の時間でした。帰ってきてからは完全にロス状態で、1日の大半は写真を見返してしまいます。

新しい学期から、大学の外で友達とルームシェアを始めました。4人でシェアしているので、寮の半分、いや4分の1ほどの値段で、しかも大学まで徒歩5分の良い住まいです。4か月仲良く楽しくやっていきたいです。9月4日に秋学期のオリエンテーションがあり、ついにここでの最後の学期が幕を開けました。後悔しないように、将来と向き合いながら充実した最終学期を過ごします！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/09/05 ～2018/10/02)

1. 勉学の状況

私にとっての最終学期に当たる秋学期の授業が始まりました。今学期は 4 つの授業を取って、そのうち 2 つの授業で授業時間外のラボがあるので、時間割はかなり忙しくなりました。

今までの学期では、留学生であるという理由から、授業をパスすることを目標にしていたが、もう留学生活も 9 ヶ月目に突入し、今学期は本気で良い成績を狙っていこうと思っています。そのため、朝は早起きして大学で勉強するようになりました。平日 17 時までには授業外の時間は基本勉強にあてています。17 時からジムに行き、その後月曜から水曜まではナイトクラス、木曜、金曜の夜と土日はイベントやご飯などに行くことが多いので、基本的に勉強しないで済むようにしています。そして何より毎日 12 時に寝ています。

これくらいの生活は当たり前のことかもしれないですが、日本にいた時の、夜型で課題もギリギリまで手をつけなかった怠惰な自分がここまで模範的な学生として生きているという事実に自分が一番感動しています。今まで 3 つのクラスでクイズがありましたが、良い成績を収めることが出来ているので大満足です。授業のコンテンツのレベルは上がっていくと思いますが、この学期中今のペースを継続し、最後に良い結果を残せるよう頑張ります。

2. 生活の状況

9 月の下旬頃、平和な日常の中で突然大事件が起こりました。いつものように朝目覚めると、駐車場に停めていたはずのルームメイトの車がなくなっていたのです。すぐにアパートの管理会社やレッカー会社に電話しましたが、回収していないと言われ、盗難であることが確定しました。鍵は手元にあり、ドアもロックしていた車が盗難されたという事実が、全く理解できませんでした。警察に通報しましたが、やはり日本ほどの手厚い対応は受けられず、未だに車は見つかっていません。

車を買ってから、スーパー、レストラン、買い物、どこに行くのも車を使っていたので、車がなくなってから何も出来なくなりました。さらに気温は寒くなる一方、雪まで降り出して、出かけるのが一気に困難になりました。夏の報告書の時に散々夏の良さを語ったとおり、私は完全な夏派なので、またやってきた冬に怯え、寒さと暗さと天気悪さで気分が沈むことも多いです。また、留学中という状況にも関わらず、就活の事や将来についての悩みで頭がパンクしそうになることもあります。でも、悪いことばかりではありません。新しい年度が始まって新しい友達も出来ました。新学期のイベントやレジャイナの行事に参加したり、車がなくなる前は、隣町のスパまで行ったりもしました。そして驚くべきことに今学期は楽しい授業が多いです。最後の 3 ヶ月、後悔ない日々を過ごすためにも、なるべく前向きに明るく生きていきたいと思っています！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/10/03 ～2018/11/13)

1. 勉学の状況

今月は本当にとてつもない忙しさでした。まず2つのクラスで2週間に1度クイズがあり、クイズのある週がずれているので、毎週クイズがあります。今学期良い成績をとるという目標を掲げる私にとって、クイズも甘く見ることは出来ず、この準備だけでも、時間が取られます。また、自分でもなぜ取っているのか疑問に思いますが、今学期コンピューターサイエンスのクラスを取っていて、このクラスがやばいです。ありえないほど時間のかかる宿題がバンバン出ます。しかも私はパソコン知識ゼロなので、半泣きで、パソコンのラボにこもって、よくわからない言葉を打ち込んでいます。さらに、Midterm が全部で5回あり、3つのクラスのMidterm が同じ週にありました。この週の死に際感はやばかったです。毎回のクイズで頑張った成績がMidterm の失敗で台無しになるかもしれない、良い成績をとるのってこんなに大変だったんですか？勉強になりました。本当に辛かったです。

2. 生活の状況

上記のように大学の授業だけでも、とても忙しかったのですが、それに加えて、11月のFall Breakをまるまる潰して、ボストンまで就活イベントに行きました。そして、この準備が1番忙しかった時期がまた、Midterm と被っていて、もう本当に勘弁してくれ状態でした。

ボストンでは、あまり観光の時間はありませんでしたが、久しぶりに会う友達に会えたり、美味しいご飯を食べたり、歩いているだけでもReginaの8万倍都会で、心が躍りました。

また10月といえばハロウィンですが、このハロウィンもMidterm と就活の準備で1番忙しい週にやってきました。当日は夜9時までMidterm、翌日は朝の10時からまたMidterm がありました。さすがにハロウィン何もしないわけにはいかないと思い、Midterm 終わりのその足で、ホラーハウスに行ってきました。このホラーハウス、ただの倉庫のようなところで開催されているので、もう尋常じゃなく怖かったです。まず暗さが日本のお化け屋敷と段違い、本当に何も見えません。その状態で後ろから急に触られたりするので、もう人間なんだかお化けなんだか気のせいなんだかもわかりません。そして、中の長いこと、長いこと。永遠に終わらないし、同じお化けが一生ついてきて、一瞬も心落ち着きませんでした。私はお化け屋敷があまり好きではなかったのですが、徐々に味わったスリルと叫びまくったことで、溜まりに溜まったストレスが発散され、終わった後はなんとも言えない爽快感に襲われました。なんかもうよくわかんないけど、途中からは楽しい！という感情でいっぱいになり、お化け屋敷の虜になってしまいました。日本に帰ったら、ストレスを抱えるたびにお化け屋敷に行こうと思います。

帰国も近づき、就活のイベントもあり、将来についていよいよ思い悩むことが増えています。帰国までの2か月弱、そしてそこから学生生活が終わるまでの1年間(多分)、自分が最も後悔し

ない選択ができるように一生懸命生きていきたいです。あ、あと車の件、無事解決しました！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/11/14～2018/12/06)

1. 勉学の状況

11 月の中旬は何かから解放されたら、また次の何かがやってくる、という無限ループから束の間解放された時間でした。大きな Midterm などなかったのもので、のんびりとやることを進められました。返ってきた Midterm では、かなりの好成績を取ることが出来ていたので良かったです！11 月の下旬からは、最後の課題や、テスト勉強に追われて、また忙しい日々でした。特に Computer Science の課題が重くて、パソコン室に 1 日中こもるような日もありました。そうこうしているうちに、あっという間に今学期の授業が終わってしまいました。これからテスト期間に入るので、最後まで気を抜かずに頑張ります。

2. 生活の状況

今月は、実は就活のエントリー締め切りにも追われていました。これは本当に今後留学に行く人に気をつけてほしいことなのですが、留学後に就職する予定がある人は、渡航前に、行きたい企業の締め切り日は確認しましょう。私の場合、エントリーはカナダからでも出来ました。2 次面接以降を受けることが出来ず、かなり悔しい思いをしました。

その他、今月はブラックフライデーや誕生日もあり、忙しい中でも、いよいよ終わりが見えてきたこの留学生生活を全力で楽しむことが出来ました。特に、誕生日に友達と訪れた LASER QUEST という施設が本当に楽しかったので、ぜひ行ってみてください！！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/12/07～2018/1/09)

1. 勉学の状況

12月17日まで、最後のファイナル期間でした。普段は8時頃図書館に着くと、まだ清掃員の人が掃除しているような状況なのですが、ファイナル期間になった途端に、その時間から席がかなり埋まっていて、カナダの期末テストへの意識の高さを感じます。今学期私が受けた授業のテストは全て体育館で行われ、なんだか受験さながらの緊張感がありました。今までの期末では、3時間の試験時間全て使ったことはなかったのですが、今学期は1つを除き、3つの科目で3時間を丸々使い、体力の消費は半端なかったです。

今学期一番苦勞した授業は経済学の授業でした。この授業のテストは、真っ白な紙に図などを用いながら、自分が使った定理や言葉の意味など、理解していることを全て記述していきながら問題を解く試験で、本当に疲れました。それでもファイナルを解いている時に、スラスラと言葉が出てくる自分にふと気づき、最初の学期、英語が出てこないことで悔しい思いをしていた自分を思うと、知らないうちに成長しているものだなと思って、感動しました。試験の結果は正直、とても良かったです！良い成績を取ろうと志し、そして頑張って、結果がしっかりついてきたことですごく自信ができました。

2. 生活の状況

ファイナルが終わってからの2週間は、クリスマスにニューヨーク、年越しにトロントとモントリオールに旅行に行って、夢のような時間を過ごしました。ニューヨークのクリスマスはもちろん、華やかで、都会でとても素敵でしたが、カナダに帰ってきて、自分はやっぱりカナダが好きだなと改めて実感しました。1年間ここカナダで交換留学が出来て、本当に良かったです。

今、帰りの飛行機の中でこの報告書を書いています。私にとって最後の報告書になります。1年間は本当にあっという間でした。1年前不安で眠れなかった行きの飛行機が本当についこの間のようなのに、今自分は帰りの飛行機に乗っているなんて、信じられません。思い悩むことや辛いこと、大変な時や孤独な時もありましたが、今思い返して浮かぶのは楽しい思い出ばかりで、こんなに素敵な一年を送れたことに感謝の気持ちでいっぱいです。高校の時、一ヶ月間の海外生活を経験して一ヶ月じゃ足りなさすぎて、大学に入ったら絶対1年間の留学に行こうと決めました。しかし、こうして1年の留学が終わった今、今度は1年じゃ足りなくて、もっと長く、ずっと海外で生活したいと感じてしまいます。日本に帰ったら、一気に現実に引き戻されそうで少し怖いですが、1年間で得たことを忘れずに、将来に向けて歩んでいきたいと思います。改めて、この留学に協力して下さった全ての皆様、ありがとうございました！！